

●令和4年度における森林環境譲与税の使途について

事業名等	内容	金額（千円）	効果（総括）
ドローン操作員養成講習参加（ドローン保険料含む）	森林情報の取得を目的としたドローンの活用において、適切な運用・操作を学ぶための講習会に参加。また、ドローンの各種保険料。	243	ドローンの適切な操作・運用方法を習得することで、人の立ち入りが困難な森林における現況把握等が可能となった。
森林経営管理制度境界明確化業務委託	意向調査の結果、市への管理委託を希望する意向のあった森林所有者の森林について、境界明確化事業（大久保町地内26.84ha）を実施	3,206	市への管理委託を希望する意向のあった森林の境界を明確化することで、次年度以降における森林整備（間伐等）の準備が整った。
林道維持管理事業	市が管理する林道において、通行者の安全を確保するため、降雨等により流出した土砂や落石を清掃及び撤去した。	952	林道利用者の安全を確保することができた。
公共施設木製品設置事業	公共施設（公立幼稚園・保育所、図書館）において、木製品を設置した。	4,466	施設を利用する子どもや保護者等に、木材の持つ温かさを感じてもらい、木に触れ合える場を提供することができた。
海岸林保全管理計画書作成事業	海岸林について、簡易診断の結果を基に、病虫害防除、危険木の伐採及び植樹箇所における本数調整伐等の保全管理計画書を作成した。	2,746	健全な海岸林を継続的に育成・管理するための基本方針を作成することができた。
林道標柱等設置事業	経年劣化していた林道御幣線の起点標柱（木製）を新しく設置し、登山道にも案内看板（木製）を設置した。	395	森林内に設置する標柱や看板に自然景観と調和した木材を使用することで、利用者に森林や木材に親しみを感じてもらうことができた。
森林環境創造事業（市単事業）	市、森林所有者及び林業事業者の3者で締結している環境林づくり協定書に基づき、間伐・下刈り等を実施する。	638	環境林整備を行うことにより、環境林としての公益的機能を将来にわたって発揮させることができる。
森林環境基金積立金	森林整備等に備えた基金積立	13,890	次年度以降の森林整備等のために基金として積み立てた。
合計		26,536	